

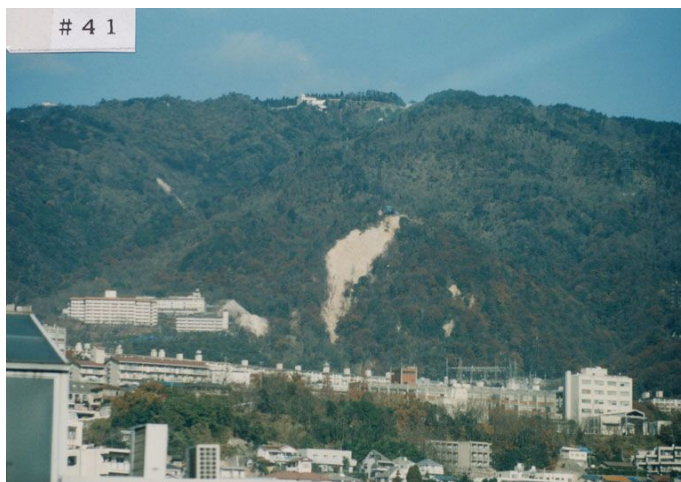
-植生基盤材圧送能力の施工事例-

工 事 名	平成11年度 鶴甲中腹斜面緑化工事
施 工 場 所	兵庫県神戸市灘区鶴甲
発 注 者	建設省六甲砂防工事事務所
施 工 面 積	8,900㎡
種 別	バイオ・オーガニック工法 B0-50
圧 送 距 離	垂直高150m、水平距離220m(圧送管距離300m)
備 考	風化軟岩(一部モルタル面)

当資料は、平成7年1月17日明朝に発生した阪神淡路大震災により山腹大崩壊した六甲山麓(鶴甲地区)の災害復旧事業で採用された、バイオ・オーガニック工法(客土注入マット工法)の施工事例である。

施工箇所は、仮設プラント(機械設置箇所)から復旧対象となる斜面までの最大垂直高は150m、植生基盤材圧送距離は300mに達した。

六甲山麓の崩壊状況(鶴甲地区)



崩壊地を下方から望む

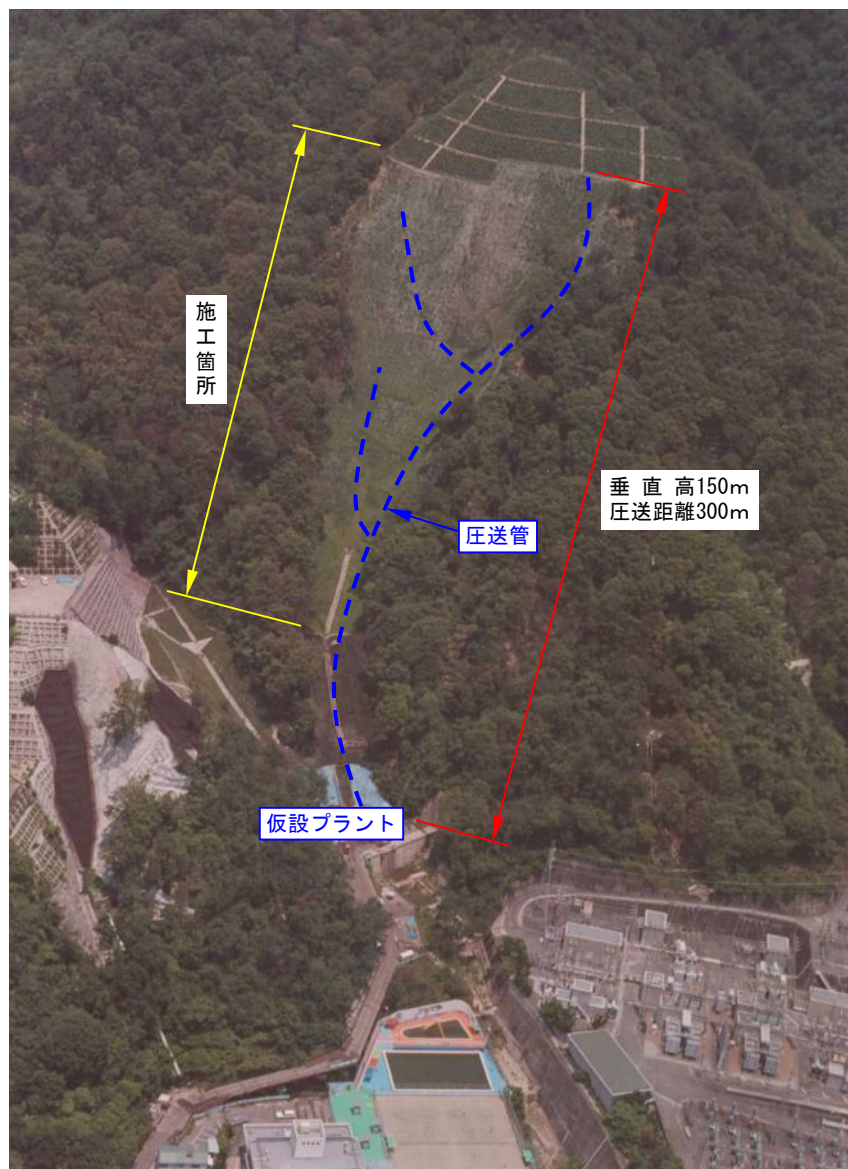


-植生基盤材圧送能力の施工事例-

基盤材注入(圧送)状況



施工箇所と基盤材圧送経路



-植生基盤材圧送能力の施工事例-

植生状況(施工1年後)



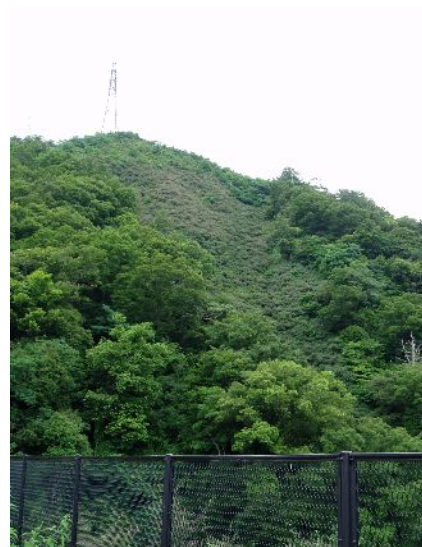
植生状況(施工2年後)



植生状況(施工4年後)

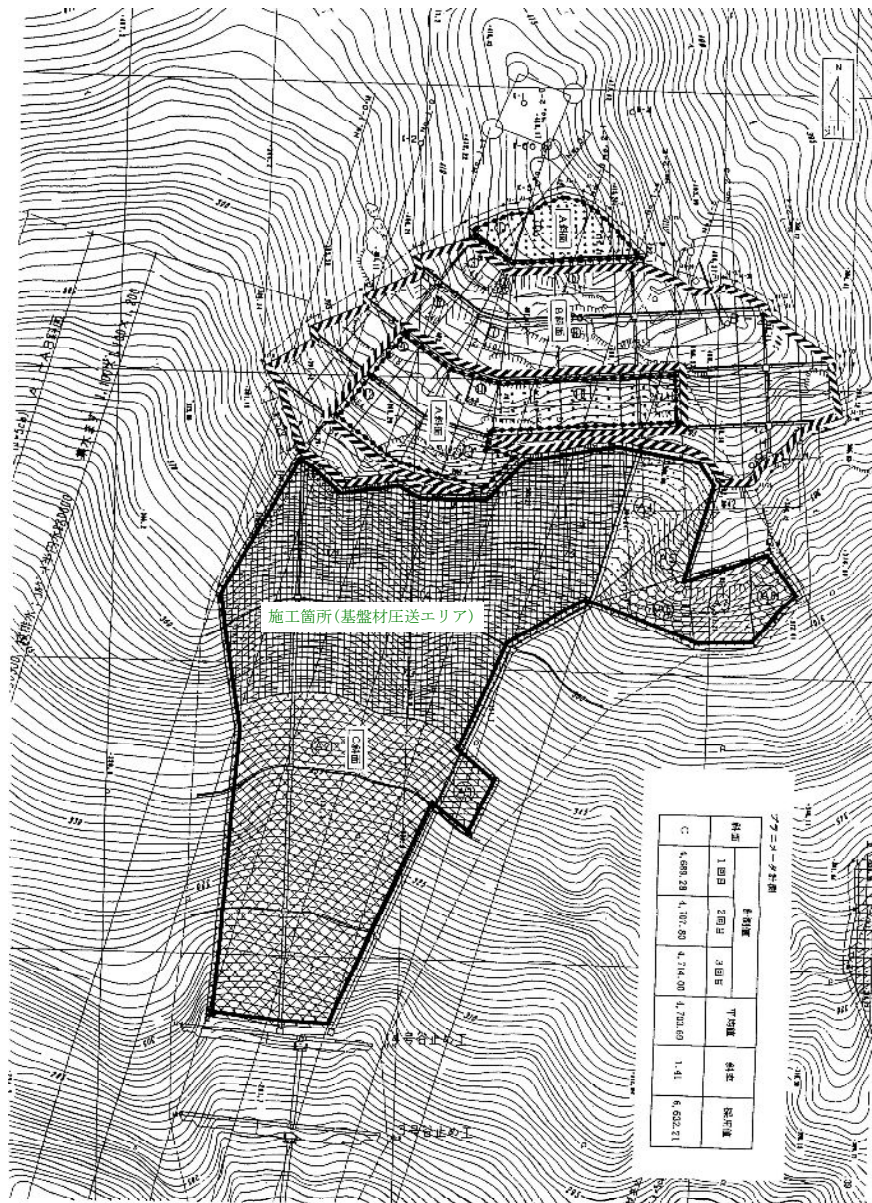


植生状況(施工7年後)



-植生基盤材圧送能力の施工事例-

平面図



縦断図

S = 1/500

